

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

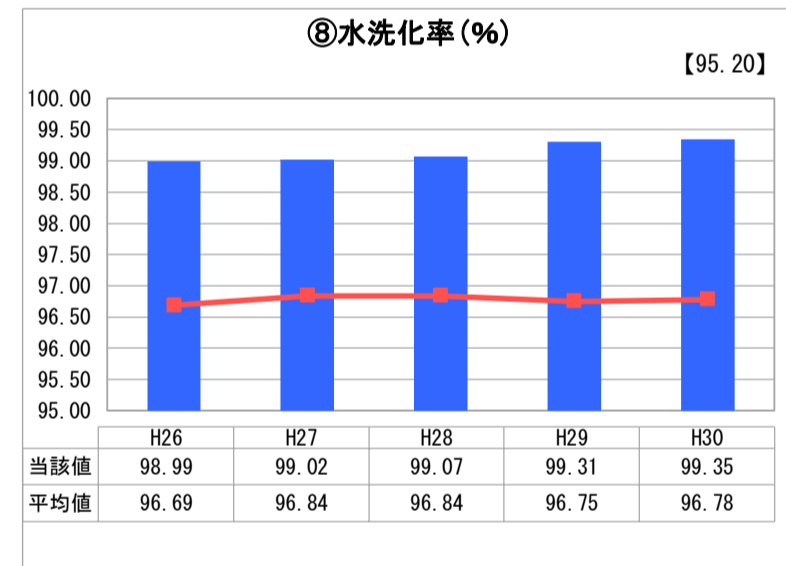
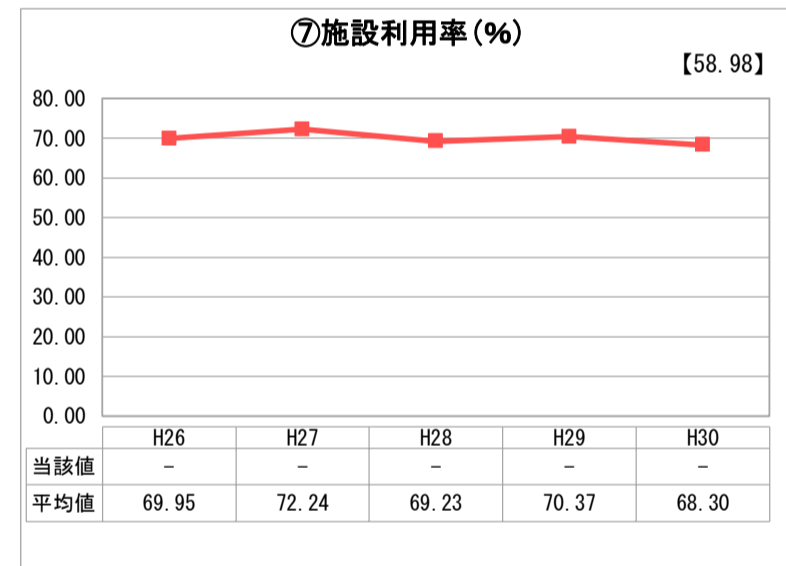
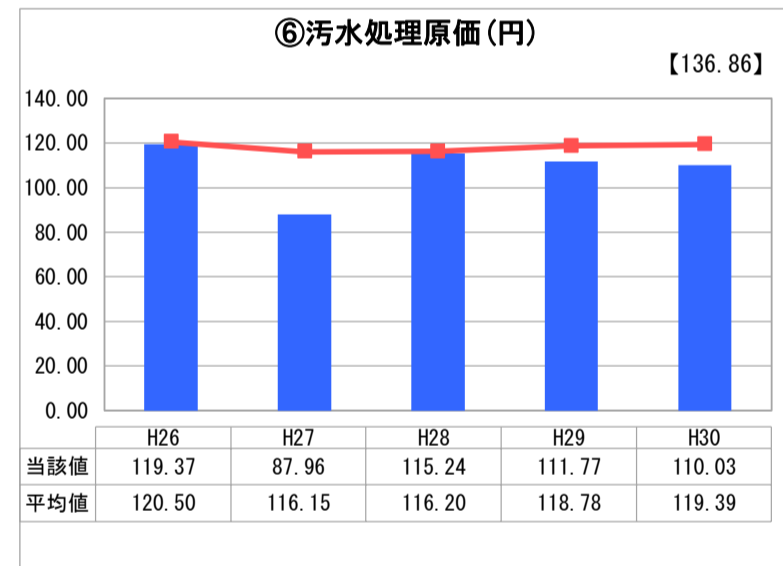
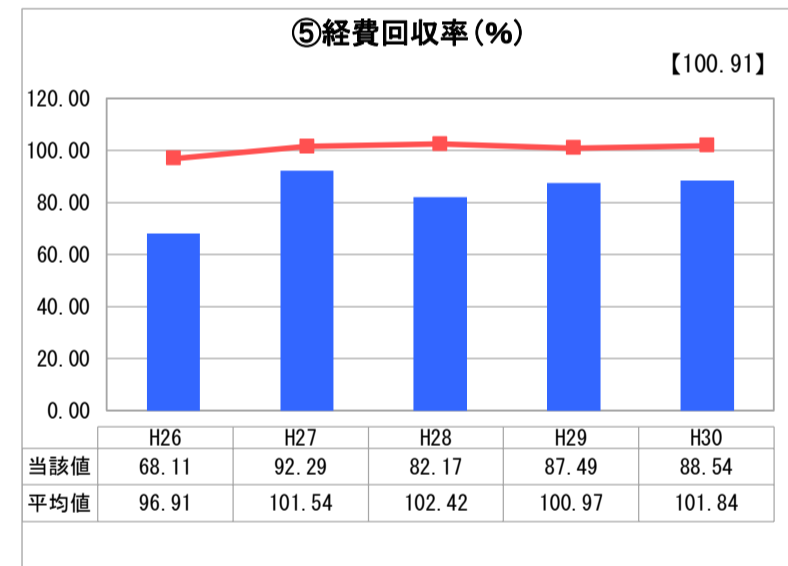
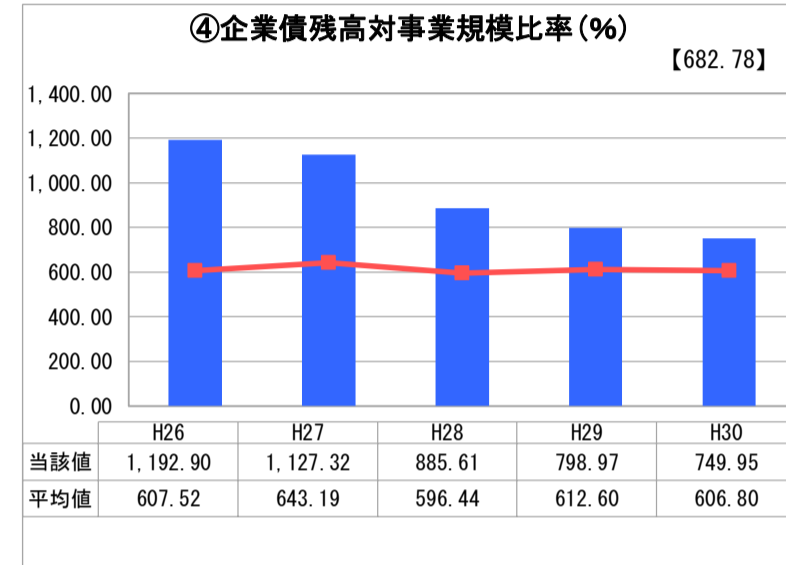
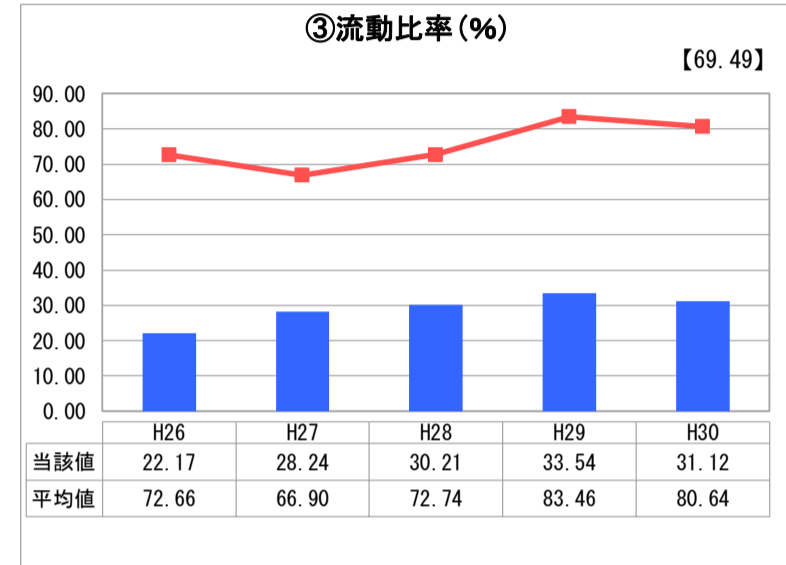
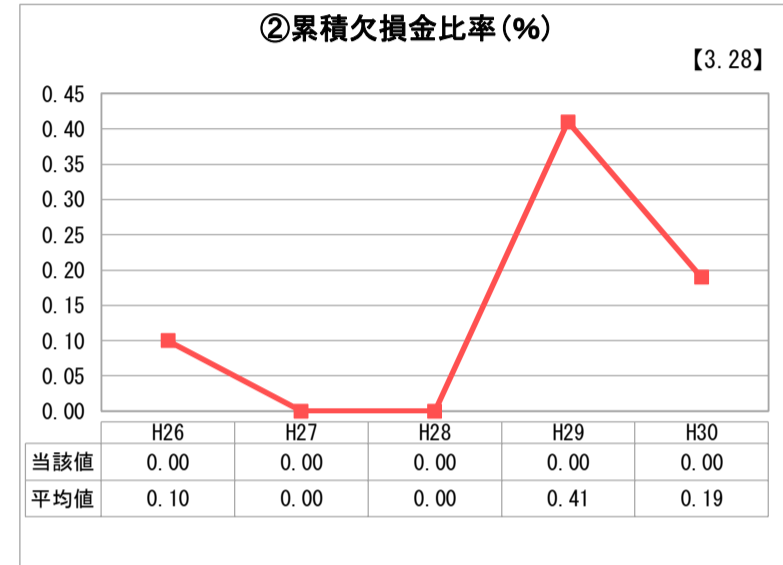
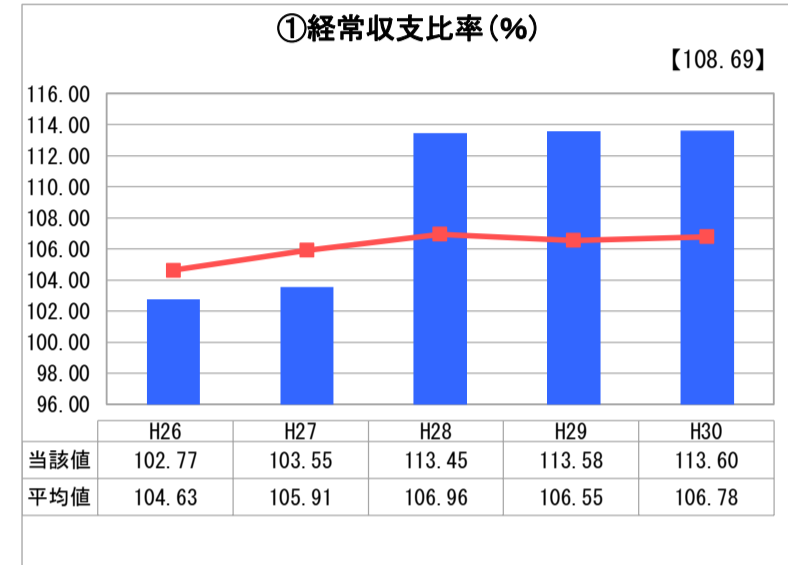
兵庫県 宝塚市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	71.03	98.80	88.41	1,814

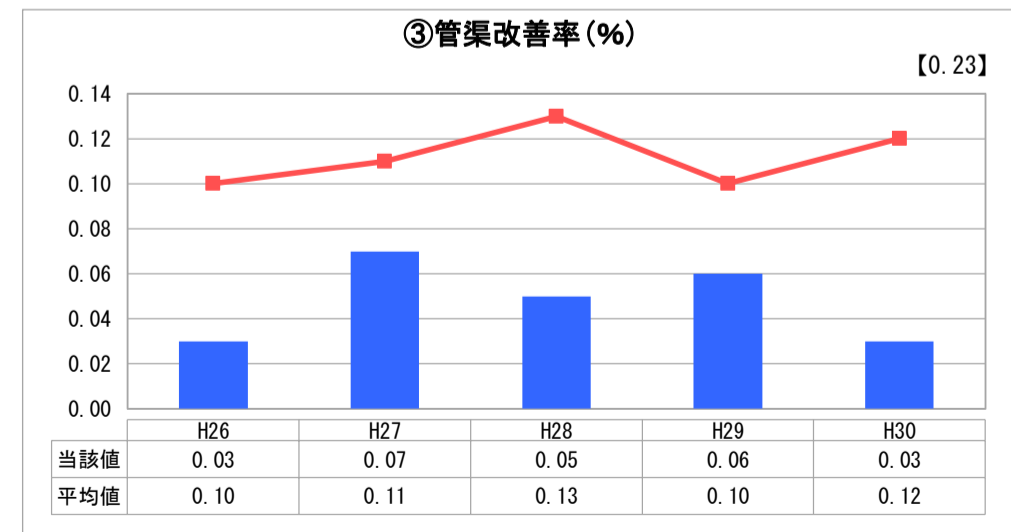
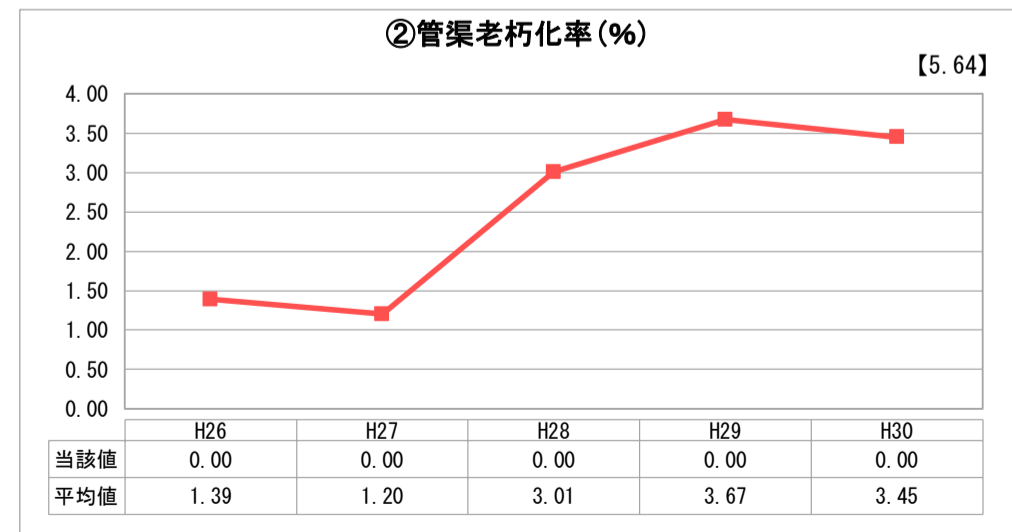
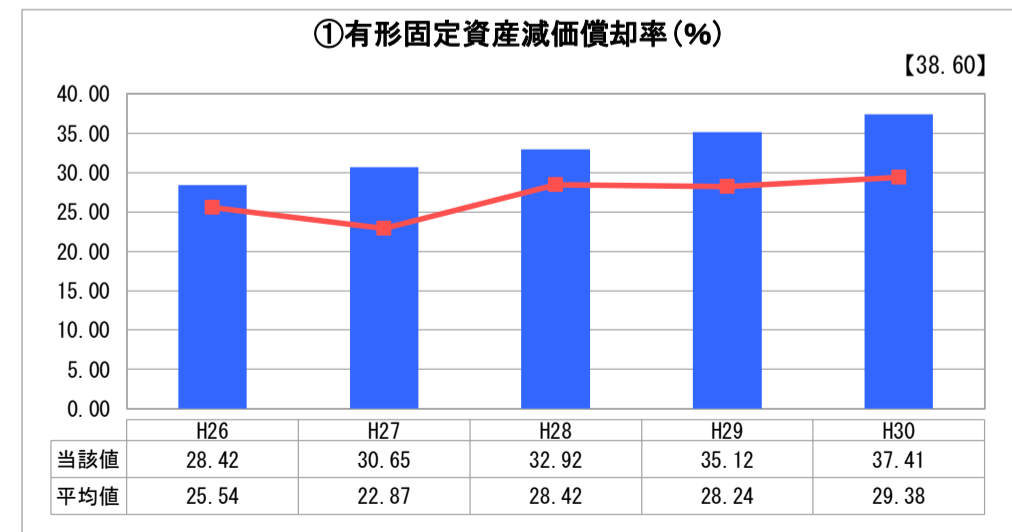
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
234,209	101.80	2,300.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
231,142	24.22	9,543.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は類似団体平均値と比べて6.82ポイント高い113.60%となっている一方、流動比率は類似団体平均値と比べて49.52ポイント低い31.12%となっており、類似団体よりも多額の黒字を計上しているにもかかわらず、資金残高が少ない状況です。企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値と比べて高いことから、企業債の元金償還が経営を圧迫し、資金的に厳しい状況を作っていると考えられます。しかし、過去5年間の通減傾向は今後も続き、今後数年で元金償還額が減価償却費の額を下回る水準まで減少する見込みであり、資金的に厳しい状況は近い将来に改善する見込みです。

また、類似団体と比較して経費回収率が低く、平成30年度は88.54%と前年度に比べて1.05ポイント改善していますが、類似団体平均値と比べると13.3ポイント下回っています。資金の状況を改善するためにも、経費回収率が100%となるよう、更なる費用削減等に努める必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

管路老朽化率は0であり、老朽化している資産はありません。昭和50年代に開発した資産が多く、今後10年程度は老朽化が問題になることはないと考えています。

## 全体総括

下水処理場を有していないため毎年度一定の流域下水道負担金が必要であることや汚水処理原価が類似団体平均値を下回っていることを考えると、これ以上の経費削減は難しい現状ではありますが、「宝塚市下水道事業経営戦略」に掲げた経営健全化に努め、経費回収率を100%に近づけるよう努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。